



今村 定一

一
般
質
問

小中学校における新型インフルエンザに対して どのような対策を考えているか。

小中学校に対する新型インフルエンザ対策

質問

新型インフルエンザ感染が日増しに拡大する現状、特に学校を起点にしての感染拡大を恐れ、予防と早期発見のために児童生徒の健康調査に追われている。学校の対策をどのように想定し考えているか。

教育長答弁

町学校教育研究協議会の学校保健部会が中心となって各学校と教育委員会と連携をして連絡体制を構築しています。

質問

学級閉鎖または休校に至る経緯は。

教育長答弁

九月八日県保健体育課に問い合わせたところ、県内小中学校で十三校四十四学級の学級閉鎖等が行われていることを確認しています。学級閉鎖や休校の措置は県が示す欠席率10%、期間四日間を目安としています。町の小中学校への対応も県に準じて実施する旨は各学校には通知済みであります。

質問

児童生徒または保護者に対する周知は。

教育長答弁

新学期と共に大流行が予測されることから、小中学校へは予防について周知している。学校では始業式で注意喚起をすると共に保護者宛に文書を配布しました。

今後もアルコール消毒液を設置し手洗い・うがい・健康観察・室内換気など徹底して行きます。

質問

学校の対策について教育委員会が二元的に管理するのか。

教育長答弁

管理については文書で発生の学校の手順・教育委員会の手順を示し遺漏の無き様に一元管理をします。冒頭町長の行政報告で示されたように既に発生しており、学校で発生したならば、即学校医に連絡し教育委員会に連絡、受けて指示をする。県・町に対して報告をするなど役割分担を明確にしてあります。

質問

学校の対策は万全を期しているようですが、発生してしまつたとのこと。拡大しないことを願います。このように日々発生拡大させないために学校側の対応は大変な負担となっていると思ひます。一定期間様子を見て町側から人員の配置を補助して負担の軽減策など講じる考えはないか。

教育長答弁

現在は考えておりません。今後の状況を見る中で、ケースバイケースで対応して参りたいと思ひます。

全国学力テストの評価と現実対策

質問

今春実施された対象学年

の結果について町の小六・中三年生の実態、全国の平均値、県の平均値と比較したときの現実結果はどのように評価し、教育委員会として対策を講じてるか。

教育長答弁

学力調査の目的が、児童生徒の学力や学習状況を把握し、改善に役立てること、主眼としていることから、序列化や競争につながるものがないように、町全体や各学校の数値等は公表しないこととしています。過去の結果から見て、小中学校とも全体としての課題はありますが、年々向上していますので各学校の対策が実を結んでいるものと思ひます。